

心ときめき

歌と詩の解釈、通奏低音のセミナーコンサート

2009 5/19 (Tue)

18:30 開場 19:00 開演

ルーテル市ヶ谷ホール

歌と笛、チェンバロが紡ぎ出す彩り

プログラム

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------|
| J. C. ベプシュ
カンタータ | 「美しいマイラの瞳の中で、
愛の神は顔をしかめる」 | Sop. Rec. Cem. |
| G. F. ヘンデル
ソナタ 変ロ長調 HWV377 | | Rec. Cem. |
| A. スカルラッティ
カンタータ | 「愛しのクローリ」 | Sop. Rec. Cem. |
| G. ベンタ
ソナタ 変ロ長調 | | Cem. |
| G. カッチーニ | 「甘いため息」 | Sop. Cem. |
| B. ストロツィ | 「秘密の恋人」 | Sop. Cem. |
| G. F. ヘンデル
カンタータ | 「心ときめき」 HWV132 | Sop. Rec. Cem. |

●なお、演奏曲目および曲順は変更になることがあります。

歌と詩の解釈、通奏低音のセミナー

「歌と詩の解釈、通奏低音のセミナー」は、古い時代の音楽を演奏するための専門的な知識、技術などを伝えて優れた演奏家を育てることに加え、「これらの音楽に興味はあるが、どのように勉強したらよいかわからない」というような方へも、専門的かつ理解しやすい内容でその興味をさらに深めることを目的として、1999年、松明堂音楽ホール（埼玉県所沢市）のご協力の下に始めました。発足の母体となったのは当時、国立音楽大学音楽研究所演奏史演奏部門で初期バロックの研究を重ねていた、佐竹淳氏（音楽学）、牧野正人氏（声楽）、岩淵恵美子（鍵盤楽器）の3名に波多野睦美氏（声楽）を加えた4名です。それより12年間多くの方々のご協力をいただき、続けることができましたこと感謝しています。

小林 木綿 (ソプラノ)

松浦 孝成 (リコーダー)

岩淵 恵美子 (チェンバロ)